慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	執筆者紹介 ; 第五十三巻第九号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1980
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.53, No.10 (1980. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19801015-0143

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

執筆者紹介（掲載順）

堀江　湛　法学部教授
小林良彰　法学修士
阿久澤利明　法学修士
ゲオルグ・レス　ザールラント大学教授
栗田陸雄　亜細亜大学助教授
倉沢康一郎　法学部教授
栂　善夫　駒澤大学助教授
小池和彦　法学修士
三上威彦　市立大月短期大学助手
宮澤　健　近畿大学教授
宮澤浩一　法学部教授

第五十三巻　第九号

目次

市川統洋助教授追悼論文集

序　十時厳周
国際コミュニケーションの特質と課題　生田正輝
地域社会研究の理論的再検討　十時厳周
——横須賀・地域分析の再考——
社会調査方法史について　二田哲夫
——近代日本における社会調査方法の模索と「月島調査」——
代議制民主主義と情報のコスト　川合隆男
正統性概念に関する一考察　中野亨
——権力論の概念枠組を求めて・緒論——
現代組織論の動向と人間仮説の変遷　霜野寿亮
『異文化間屈折理論』の概要　関根政美
現代社会学の位相　宇野善康
——人間存在の社会学をめざして——
ゲマインシャフトとゲゼルシャフトにおける「諸関連」と「諸関係」とについて　山岸健
——F・テンニースの『ゲマインシャフトと
『ゲゼルシャフト（文化哲学の定理）』を中心に——
組織論の社会学的展開　大淵英雄
——状況適応の組織論——
発展途上国の都市問題　青沼吉松
——香港低所得層の住宅問題を事例として——

矢崎武夫